

※学校 HP にカラー版を載せています。よろしければご覧ください。

上越市立直江津小学校学校だより 令和3年度 第4号 通算第271号

ジェームス・ダン

(ジェームス・ダンは、直江津小学校校歌の作曲者です) 令和3年7月20日



2020 東京オリンピック・パラリンピック開幕

～人間が一番輝く姿を見て感じて心に刻む～

72 日間の一学期が無事に終業できることに感謝です。ひとえに保護者の皆様、地域の皆様のご支援とご協力のおかげです。本当に有難うございました。そして、いよいよ1年延期されたオリンピック・パラリンピックが開幕です。感染予防に努めながらの開催ですが、歴史の一ページに深く刻まれる大会になることは間違いありません。

そこで、終業式では次のような話をしました。

- ① 自国開催のオリンピックは生涯において一度あるかないかの国民的行事である。
 - ② 選手は自分の目標を高く掲げオリンピックを目指して努力してきた。
 - ③ 人間の一番輝いている姿は、目標をもって物事に挑戦していく姿である。
 - ④ オリンピックは人間が輝いている姿を見る絶好の機会である。
 - ⑤ 選手の姿から何かを感じとって目標をもって挑戦し輝く人になってほしい。
- (スポーツに限らずいろいろな夢の実現可能性が皆さんにはある。)

設置予定のボルタリングボード



さらに、日本でも人気が出てきた新種目のスポーツ ライミング (ボルタリング) の動画を視聴し、直江津小学校の体育館壁にボルタリングボードが設置されることを付け加えて話しました。
(約 幅 450 c m 高さ 330 c m)

このボルタリングボードは 150 周年記念品として相村建設株式会社 (代表取締役 相澤 吉久) からご寄贈いただけることになっています。児童の体軸や握力を鍛え、登り方を考える思考力向上にも寄与します。ボルタリングに興味をもって直小から未来のオリンピック選手が出てくれることを密かに期待しています。2 学期から使用できるように夏休み中に設置の予定です。相村建設様の御厚意に心から感謝を申し上げます。

水澤勝宏先生 本当にありがとうございました！「水澤農場」看板設置

今年2月22日にご逝去された水澤勝宏先生を偲んで、玄関前の畑に看板を設置しました。水澤先生は平成29年から令和2年まで直小に勤務され、その間、子どもたちのために野菜づくりや動物の世話など、骨身を惜しまず力を尽くされました。そんな水澤先生のことを忘れずにいるための看板です。きっといつまでも直小の子どもたちを見守ってくれることでしょう。学校にお立ち寄りの際は是非、ご覧ください。



在りし日の水澤勝宏先生

150 周年事業② ～メモリアルアート～



*以前の壁面画は、当時の写真とともに、ミニプレートにして校舎に飾られる予定

平成 13 年（2001 年）、創立 130 周年を迎えた年の 6 年生が親子活動で描いた作品が校門の南側に描かれています。インターネットで世界とつながっている絵も描かれています。20 年前とは思えない、まるで現在の世の中を予言しているかのようです。

150 周年に描く絵は、現在の中学校 1 年生が「直江津の素敵な人、もの、こと」をモチーフにしています。



7 月 1 日（水）に縦割り班ごとに、全校児童で描きました。壁面の下地やコーティング処理に玉木塗装工業様、ペンキの提供に内藤塗料株式会社様から全面協力していただきました。メモリアルウォールの除幕式を 2 学期に予定しています。



ダイナミックな花火



下絵を写す 6 年生



下学年と仲よく色塗り



全校 133 名の手形もあります

「上越市防犯の日 7/12 ・ 防犯週間^{前後1週間}」に合わせて安全点検



第1、3水曜日 あいさつ隊

7月5日(月)に町内会長様、青少年育成会議直江津小支部様、PTA三役様、小学校職員にて、通学路や地域の防犯上の「危険箇所」等を見回りました。朝方まで大雨で、見回りができるか心配でしたが、その時間帯だけ晴れ間が見られ、蒸し暑い中でしたが活動することができました。不審者情報や野生動物の出没に対する注意喚起など、「すべては児童の安全と安心のために」と熱心に情報交換や見回りに参加してくださいました。

安全ベストを着用してのパトロールをすることで、地域へのアピールや不審者への抑止効果がもてました。ありがとうございました。また、毎月第1、3水曜日のあいさつ応援隊へのご協力にも感謝いたします。

各学年の様子 ～学年だよりから～

1松 友達と計算カードで対決

回を重ねる毎に、「ハイ！」の掛け声も大きく、そしてカードを取るタイミングも早くなってきました。正に「継続は力なり」です。

ご家庭でも、おうちの方と楽しく競っていただいている話も聞いています。



2松 上越丸えんぴつナス収穫

7月6日(火)、エー・エフグリーン相澤社長が来てくださり、全員でナスの収穫をしました。「とっても立派なナスですね。これなら、品評会で1等を取れるかもしれません。」と、相澤社長に褒めていただき、子供たちも大喜びです。この日に収穫したナスは、次の日にみんなで食べるためのナスです。全部で25個採れました。



3松 水泳授業が始まりました

6月18日(金)から水泳授業が始まりました。子どもたちは、2年ぶりのプールをとても楽しんでいます。また、今週から4年生と合同で練習をしています。伏し浮き・蹴伸び・バタ足などの学習をするグループと面かぶりクロール・呼吸ありクロールの学習をするグループに分かれています。クロールで12m以上泳ぐことを目標に、子どもたちと頑張っていきます。



4松 直小の歴史を探るⅣ

森さんは、4年の時に95周年を迎えたそうです。4～6年生の時は、2代目の新しい校舎で学ばれたそうです。森さんが持っていた卒業アルバムの写真を通して、修学旅行や運動会、展覧会の様子を知ることができました。そのころは、全校児童が「黄色いベレー帽子」をかぶって登校したり校外学習にでかけたりしていて、それが直小のトレードマークだったそうです。



5松 遠くまで飛べ、紙飛行機

7月7日、総務委員会主催の紙飛行機大会を行いました。初めて行う紙飛行機大会。全校で事前に紙飛行機を折り、準備をしました。5年生では、動画を見たり、本を見たりして研究している子、あまり作ったことがなく、教えてもらって折る子と様々でした。本番は学年ごとに1回だけ投げ、その距離を競いました。この1回だけというのがなかなか難しく、練習では飛んでいたのに・・・という子もいました。



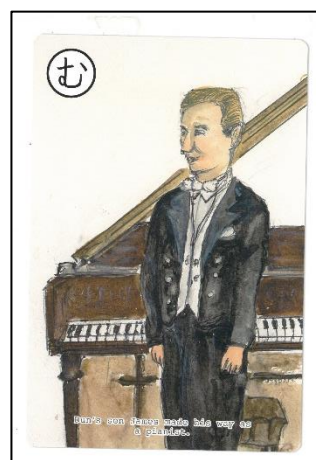
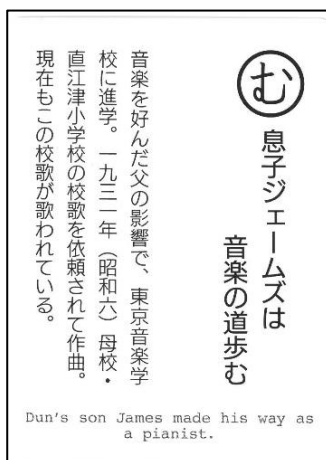
6松 古城小の6年生と遠隔授業

国語の学習で、古城小学校の6年生と一緒に学習する時間が始まりました。初めは、一人一台のタブレットで「Meet」を使って、顔合わせをしました。自己紹介をしたり、それぞれの学校やクラスのことについてクイズを出し合ったりしました。同じ教室の中にいる時とは違い、うなずいたり、拍手をしたりと、リアクションを大きくしないと伝わっているかどうか分からないことを知ることができました。



「ダンかるた」エドウィン・ダン記念館から寄贈される

校歌の作曲者ジェームス・ダン氏の父親であるエドウィン・ダン（北海道酪農の父）の記念館（北海道札幌市）からかるたが寄贈されました。札の中に、息子のジェームス・ダンのことがありました。今後、子どもたちが遊びに使う予定です。



「航空写真」に参加された地域の皆様・保護者の皆様へ

航空写真をクリアファイル（A4判）にする予定です。参加された皆様にお渡ししたいと考えています。出来上がりましたら、学校だよりでお知らせします。しばらくお待ちください。